

◆ 学校だより ◆

Obihiro Kashiwa Elementary School



かしわ

開校 大正9（1920）年



帯広市立柏小学校

保護者・地域との

より強い **絆** をめざして

令和8年1月19日 26号

## ＜令和7年度 後期学校評価について＞ 保護者回収率：76.2%(209/274)

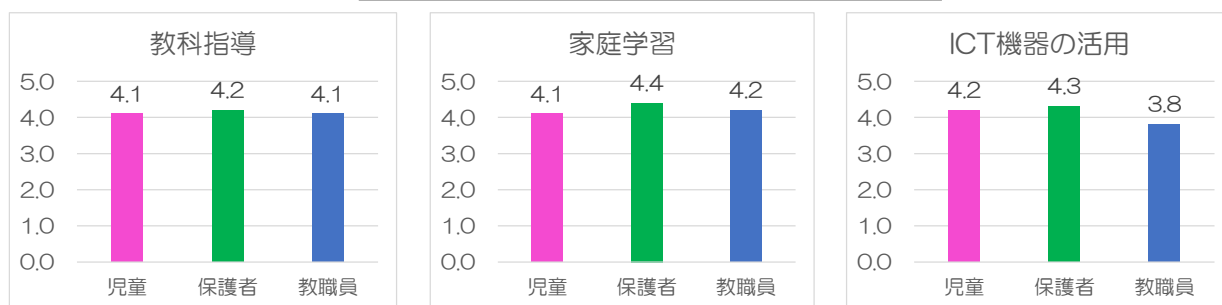
日々の教育活動や学校運営を客観的に振り返り、よりよい学校づくりを目指すことを目的として、児童・保護者・教職員の三者を対象に学校評価を実施しました。

今回の結果は、下記のようにになりました。児童の自己肯定感の高さや保護者の皆様の本校の教育活動への関心の高さ、教職員がさらに高みを目指す姿がうかがえる項目がありました。

保護者の皆様の貴重なご意見を参考にし、子どもたちが意欲的に学校生活を送り、安心して過ごすために、「チーム柏」として学校力向上を目指します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 令和7年度 後期学校評価および保護者・児童・教職員アンケート

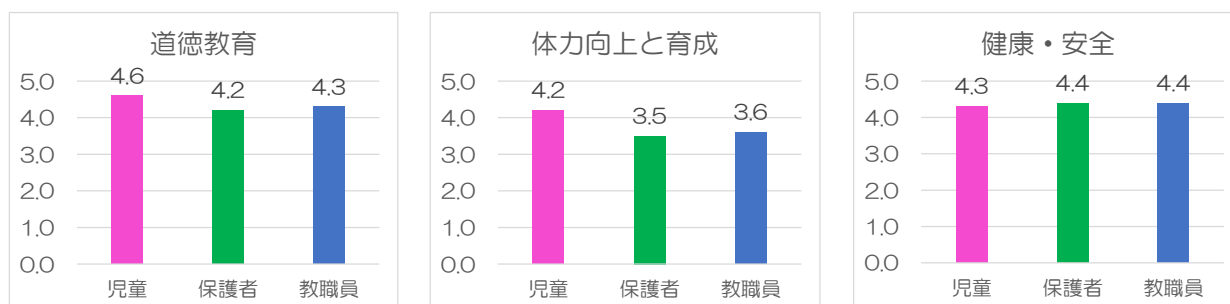
#### 学び・心・体の充実



「教科指導」については、児童・保護者のポイントは前期とほぼ同じ結果となりました。また、教職員のポイントも前期より0.4ポイント上がりました。今後も、子どもたちが高い意欲をもって学びに向かったり、学び方を選択したり、学んだことを活かして表現したりする力を伸ばしていけるよう、指導を続けていきます。

「家庭学習」については、前期と同様に高いポイントでした。しかし、タブレットの宿題と紙での宿題のバランスについてご意見もいただいております。効果的な宿題の出し方について学年毎に検討し、家庭学習を通して子どもたちの学びの充実を目指し取り組んでいきます。

「ICT機器の活用」についても、前期とほぼ同じ結果となりました。ただ、教職員のポイントが低めになったのは、授業でのタブレット活用場面が適切だったか、もっと活用できなかったかという反省の表れです。今後も、子どもたちの学びが深まるようICT機器を効果的に活用しながら授業を進めていきます。



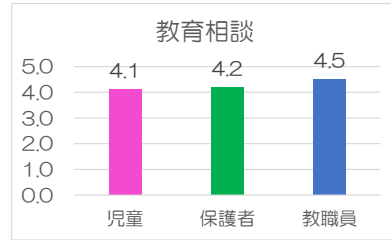
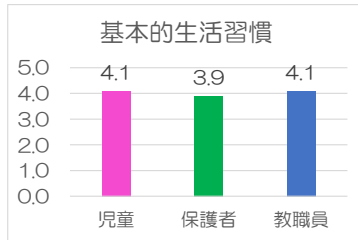
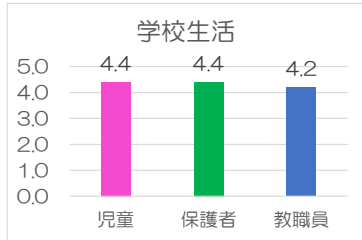
「道徳教育」については、前期と同様に高いポイントでした。学校と家庭が連携した道徳教育の賜物だと考えます。学校生活の様々な場面を通して、規範意識の向上を図っていきます。また、自分のよさも友達のよさもわかり、自他ともに大切にする子どもを育てていきます。

「体力向上と育成」については、前期と同様、児童の自己評価と反し、保護者・教職員のポイントが低めでした。冬ならではの運動や遊びを工夫し、健康な体をつくらたり体を動かす場面を増やしたりしながら、体力向上を図っていきます。

「健康・安全」については、前期と同様に高いポイントでした。健康や安全に関わり、子どもたちの主体性が高いことが要因であると考えます。今後も、自然環境や日常的な指導を通して、子どもたちの危機意識を高めるとともに、自他の命を守ることの大切さについて伝えていきます。



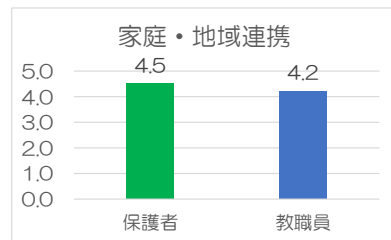
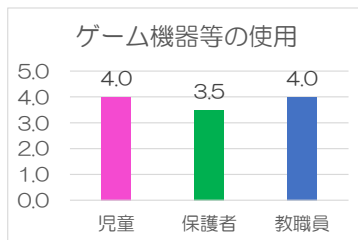
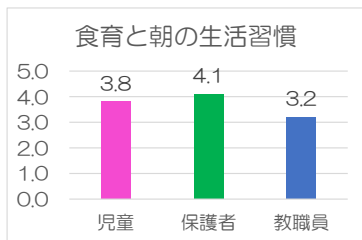
## 家庭・地域と共にある学校



「学校生活」については、三者とも高評価となりました。今後も教職員が一丸となり、子どもたちが楽しさや充実感を味わうことができる教育活動に努めていきます。変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

「基本的な生活習慣」については、児童・保護者は前期とほぼ同様のポイントとなりました。また、教職員のポイントが0.5ポイント増と大きく上がりました。自分から進んで挨拶する、廊下を正しく歩く、時間を守る、忘れ物をしないなど、今後も丁寧な声掛けに努めます。ご家庭でも折に触れてお子さんへの声掛けをよろしくお願いいたします。

「教育相談」については、前期と同様、三者とも高いポイントとなりました。今後も、子どもたち・保護者の皆様が相談しやすい雰囲気醸成と、教育相談の体制の整備に努めます。



「食育と朝の生活習慣」については、三者とも前期とほぼ同じ結果となりました。教職員も給食時間や各教科の指導の中で、食育や生活習慣の重要性を指導しておりますが、家庭の協力なしでは食習慣や生活習慣は定着しません。「早寝・早起き・朝ご飯」を言葉に学校・家庭が協力して子どもたちの「朝の良いリズム」をつくっていきたくております。

「ゲーム機器等の使用」については、児童の評価が高かった一方、保護者の評価が低い結果となりました。学校でもタブレット使用のルールを徹底したり1日の過ごし方について考えたりするなど、生活を見直す活動に努めています。家庭でもゲーム機器等の使用に関わるルールを、お子さんとしっかり確認・共有していただければと思います。

「家庭・地域連携」については、保護者のポイントが全ての質問項目の中で一番高い結果となりました。いつも柏小学校の教育活動に対し、温かい見守り・励ましをたくさんくださり、ありがとうございます。今後も、学校と家庭・地域が連携し、子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。



## 保護者の皆様の声

### ◆学校だよりや学年・学級通信などの配信について◆

前年度より、子どもたちにはGoogleクラスルーム、保護者の皆様には楽メ、地域にはホームページを通して、各種通信を配信しています。また、前年度の反省を踏まえ、今年度は、緊急時の配信以外は定時配信を心掛けております。「時間割を紙で配布してほしい」というご意見もいただいておりますが、「データ配信になり、いつでもどこでも時間割を確認できる」というご意見もいただいております。また、印刷にかかっていた費用を子どもたちの学習に関わる教材や教具を購入する費用に充てられています。＜子どもたちの出欠の有無に関わらず各種通信を届けられる＞、＜印刷にかかる時間の削減＞、＜学校予算の節約＞というメリットも踏まえ、今後も同様の形をとらせていただく予定です。ご理解・ご協力をお願いいたします。

### ◆タブレット端末の使用の仕方、持ち帰りについて◆

学校では、文科省の「GIGAスクール構想」を受け、5年前よりタブレット端末を使用しています。現状として、子どもたちの学力向上につながる効果的なタブレット活用について日々研修し、試行錯誤を繰り返しているところです。書く活動も大切にしつつ、タブレットのよさを生かし、学習活動がさらに充実するよう努めていきます。また、タブレットの持ち帰りについてですが、現在、学習道具の一つとして毎日持ち帰り、充電して次の日持ってくることにしています。タブレットの機能について、制限できるものとできないものがあるので、学校や家庭での使用を繰り返す中で、子どもたちにタブレットの主体的な活用力（必要な場面で、タブレットを学習道具の一つとして選び活用する力）を身に付けさせたいと考えております。課題としては、持ち帰ることによる「重さ」の点です。現在、国語と算数以外の学習道具は置き勉強しても良いルールで進めております。学校では、学習用具を整理し、家庭での学習に必要な道具を持ち帰るよう指導していきます。

### ◆その他いただいたご意見について◆

- ・各担任の学級・学年経営に関わり、たくさんのご意見をいただきました。全ての子どもたちが安心して登校し、笑顔で下校できる学級・学年経営を目指し、これからも教職員が一丸となって教育活動を行っていきます。
- ・授業参観や学習発表会など、行事についてのご意見もいただきました。今後、年度末に向けた職員会議が予定されていますので、いただいたご意見も踏まえ検討していきます。
- ・冬の遊びについてご意見をいただきました。過去に、雪玉に含まれた氷が相手の顔に当たり、大けがをする事故も起こっています。学校で雪合戦を行う場合は、教職員がいない場所での雪合戦は禁止しています。今後も、雪合戦をする際は、安全に気を付けて行いたいと思います。

☆ご協力ありがとうございました☆